



効果的に吸えない理由は・・・ (1)

(乳輪部のむくみ)

ののちゃんは妊娠40週で3108gで生まれました。産後、わたしの母乳は良く出るといわれ、1、2日はなんとかくっついていましたが、急にたくさんでるようになって授乳ができなくなりました。退院して1週間ですが、まだくっつけずに搾っています。

ののちゃんママの場合は・・・

たくさん母乳がでるラッキーな方ですね。初めは乳首と乳輪部も柔らかでちゃんとのめていたのですね。赤ちゃんの生後数日は胃袋も小さく伸びにくいといわれていますので一度にたくさん飲めずに回数多く少しずつ欲しがるといわれています。生後72時間ごろから急に母乳量が増えますが、ののちゃんには多いくらいの量だったかもしれません。そのせいか乳輪部がむくんだ状態になっています。そうすると効果的にのみとることができず、ますますのみにくくなっている感じです。



提案

- 授乳前に乳輪部を圧迫してみる。(下の写真参照)
- さき搾りをする。
- 授乳間隔が長く開かない程度の補充をする。
- 授乳後は乳房が充満していれば軽く搾乳をする。出しすぎるともっとたくさん作るので注意
- 痛みとして感じるようなら、保冷剤やアイスノンで冷やす
- 授乳の基本をしっかりと実行

乳輪部のむくみをとる方法

指をそろえて内部に圧迫
1分以上行い、その後搾乳をして授乳をします。

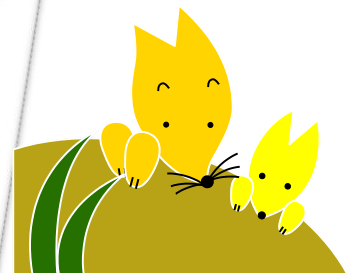


参考文献： Breast feeding and Human Lactation
Breastheeding Answer Book

赤ちゃんアルバム



すくすく育ってね・・・



(無断転載禁止)